

自主学習のス・ス・メだより(2月の家庭学習がんばり週間)

平成30年3月14日 宇都宮市立田原小学校

第3回目の「家庭学習がんばり週間」の結果を、下記のように学年ごとの平均にまとめました。この結果からどの学年も、しっかりと家庭学習の習慣が身に付いてきたことが分かります。

学校では、学力向上のために、これからも家庭学習を進めていきたいと考えています。この「がんばり週間」だけでなく、日々の中で継続できる力の育成を目指していきます。それには、保護者の皆様のご協力が欠かせません。前回の自主学習のス・ス・メだより1月号でお子様の「やる気・集中力・継続力」を高めるためのお話をさせていただきました。今回は、「学習意欲の向上は基本的生活習慣から」をテーマにお話しいたします。

あいさつ・早寝早起き・朝ごはん等の基本的生活習慣の定着は、お子様の健全な成長に必要なものです。これは「学習意欲」とも関係します。「学ぼう」とする気持ち、すなわち「学習意欲」は子どもの学力を大きく左右します。ある調査データをご紹介します。

河村茂雄氏（早稲田大学教育学部教授）は、学習意欲と基本的生活習慣の関係を調査し、以下の通りまとめています。

	生活習慣が規則正しい子の学習意欲	中間層の学習意欲	生活習慣が乱れている子の学習意欲	※数値は偏差値（50を平均として数字が大きいほど意欲が高く、小さいほど意欲が低い。） ※生活習慣は、「朝ごはんを食べているか」「朝、自分で起きられるか」「家で、おはようなどのあいさつができるか」の3項目で調査
小学生	54.1	49.6	43.3	
中学生	52.2	48.7	45.3	

この結果から、基本的生活習慣がしっかり身に付いている子は、そうでない子に比べて学習意欲が高い、ということが分かります。ですから、「生活習慣が乱れているのに、学習意欲は高い」というケースは、珍しいのです。

「意欲」には、学習、運動、音楽、読書、遊び、ゲーム等、たくさんあります。大切なことは、基本的な生活習慣の定着を図りながら、意欲を良い方向に導き、総合的に伸ばしていくことであると考えます。

1日の学習時間の平均（2月26日～3月4日）

学年	平日（分）	土・日（分）
1年	35.0	26.5
2年	73.3	50.2
3年	58.0	47.4
4年	110.1	73.8
5年	112.4	111.4
6年	122.7	91.1